

地域の連携で観光地づくりを加速化

●インバウンド対応観光ルート創出事業

北海道を訪れる海外からの観光客の目的地は、札幌を中心とする道央圏や函館、旭川など一部の地域に偏りがちです。また、訪れる時期も、花鑑賞やスキー、流水観光を目的とする夏・冬に集中しています。そこで、道や北海道観光振興機構※では、地域が連携してそれぞれの特長や潜在力を生かし、海外からの観光客に満足してもらえる環境を整備しようと「インバウンド対応観光ルート創出事業」に取り組んでいます。

これは、複数の自治体で構成する協議会が、地域の実情や課題に応じて取り組む観光ルートづくりを道が支援するものです。今年度は、10地域がこの事業を実施し、観光客の目線で新たなモデルコースづくりやPRツールの制作などに取り組んでいます。

※北海道の観光戦略の企画・推進や観光プロモーションなどを行う公益社団法人



NPO法人 留萌観光協会
常勤理事 海東 剛哲さん

留萌の魅力がたっぷり！「海のプログラム」がおすすめです。



国が形成を進める「きた北海道」を対象地域とした広域観光周遊ルートの一つとして、留萌地域でもインバウンド対応の取り組みを始めています。管内には年間約140万人の観光客が訪れますが、これまでは通過型観光で海外からのお客さまはほとんどいなかったため、何から着手していいか当初は手探り状態でした。

管内8市町村で真剣に協議を重ね、見つけた答えは「インバウンドは受け身ではだめだ」ということ。札幌・旭川を発着地としつつ、「日帰りでも留萌地域に行きたい」と思ってもらえるモデルコースを設定して、パンフレットを作成。今年度は体験プログラムを開発し、PR活動を進めています。その代表格が「海のプログラム」。前浜で獲れた魚介類を肉と一緒に炭火で焼いて味わう食文化「るもい浜焼き」のほか、海辺のキャンプ、釣りなど、留萌ならではの体験が人気です。

また、日帰りと1泊2日のツアーとして商品化を目指し、体験メニューの磨き上げを行っているのが、市内すし店で職人に教わる「すし握り体験」と、海辺の寺での「坐禅体験」。シャイで無骨だけれど実は面倒見の良い留萌人気質も、この地域の魅力だと思っています。海外からのお客さまのお越しをぜひお待ちしております。



海外からの観光客に好評のすし握り体験

観光を支える人づくりを加速化

●実践的インバウンドおもてなし人材育成事業

海外からのお客さまに「北海道に来て良かった」と旅の満足度を高めてもらうには、観光案内や接客などに携わる方々のおもてなし力が求められます。

観光客への対応を円滑に行うために道が進めている「実践的インバウンドおもてなし人材育成事業」は、専門知識と技能を持つ通訳案内士の育成研修や、観光産業に携わる人たちの実践研修など、現場に役立つ内容です。

受講者は、海外からの観光客にとって北海道の魅力とは何か、飲食や買い物などの際にどんな工夫や手助けが必要かなど、日本人観光客への接客とは異なる視点で対応方法を学んでいます。



通訳案内士
遠藤 昌子さん

心の通う観光案内で、
地域と人の魅力を伝えたい。



通訳案内士の資格を取得したのは13年前。海外からの観光客に同行するガイドとして道内外で活動しているほか、道が主催する通訳案内士の育成研修を担当しています。

ガイドとして心がけているのは「関わりを提供する」ということ。雄大な風景と歩いて楽しめる小さな風景の組み合わせや、農漁村プログラムを通じた人と産業の関わり方の体験など、五感で楽しめてストーリー性のある過ごし方をお客さまに合わせて提供しています。

訪問地での買い物も、大事な楽しみの一つ。「好き嫌いの分かれる海産物を観光客に売りつけるのは申し訳ない」などと思わず、おいしい食べ方をレシピにしてもいいですね。

片言の英語でも伝えようとする気持ちが観光客にはうれしいのです。そして、喜ぶ姿を見て、地元の人たちも元気になる。そんな心の通いが旅の醍醐味です。

その意味で、通訳案内士は地域と人を結ぶ仕事。道内各地の魅力を伝えられるおもてなし人材が増えてほしいと願っています。



海外からの観光客を案内する遠藤さん

世界へ発信！
北海道

道の取り組みを紹介します。

道では、北海道が将来にわたり発展を続けていくため、「世界の中の北海道」という視点で、経済・人材・文化などさまざまな分野の交流拡大を通して、成長を続けるアジアをはじめとする海外市場への展開を戦略的に進めています。

ハワイへ発信！

経済・教育・文化などの交流促進のため、5月に知事などがハワイを訪問し、ハワイ州と友好提携を締結。食や観光、先住民族文化の交流などをテーマに北海道の魅力を発信するプロモーションを行いました。また、日系住民が多く和食も好まれていることから、道産食品の輸出拡大を目指し、現地バイヤーと道内企業との商談会を両地域で行っています。



ハワイでのプロモーション

ベトナムへ発信！

8月に北海道の訪問団がベトナムを訪問し、ベトナム計画投資省と経済交流に関する覚書を締結。現地航空会社

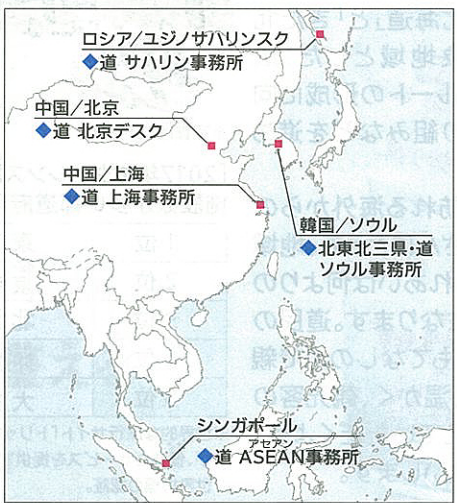
への国際線就航の要請や、食や観光、技術交流、人材育成などをテーマに北海道の魅力発信プロモーションを行いました。また、道産品の輸出拡大や道内企業の進出を支援するため、サポート体制の整備も進めています。



ベトナム計画投資省との覚書締結

●道の海外ネットワーク

シンガポール、上海・北京（中国）、ユジノサハリンスク（ロシア）、ソウル（韓国）に拠点を設置しているほか、北海道とゆかりがあり世界で活躍する方を「国際ビジネス協力員」に任命し、現地の市場動向などの情報をいただいています。また、海外において情報発信に協力いただける企業を「スマイルステーション」、個人を「スマイルアンバサダー」として登録・任命しています。



お知らせ！

赤れんが

お問い合わせは
▶マークの窓口、またはホームページへ。

犯罪の被害に遭った方への
支援について

犯罪被害者の方々は、直接的なダメージだけでなく、被害後にも生じるさまざまな問題に苦しめられています。

警察では、事件や事故の被害に遭われた方の相談や家庭内暴力、ストーカーなどに悩んでいる方の相談も受け付けています。警察相談窓口のほかにも、心の傷が癒やされずに悩んでいる方のために、民間被害者相談窓口のカウンセラーが話をお聞きします。勇気を出してご相談ください。

【警察相談電話】

- 被害者相談
性犯罪相談110番 #8103
少年相談110番 ☎0120-677-110
- 一般相談 #9110

【民間被害者相談電話】

北海道被害者相談室
☎(011)232-8740
性暴力被害者支援センター北海道
(SACRACH) ☎050-3786-0799

被害者のご遺族や、障がいが残った被害者の方に国が給付金を支給する「犯罪被害給付制度」があります。詳しくは道警本部またはお近くの警察署にお問い合わせください。

▶道警本部警務課 ☎(011)251-0110

必ずチェック、最低賃金！
使用者も、労働者も

臨時、パートタイマー、アルバイトなど、働き方の違いにかかわらず、すべての労働者に適用される北海道最低賃金が10月1日から改定されました。

時間額 810円

詳しくはホームページをご覧ください。

北海道 最低賃金 検索

▶道庁働き方改革推進室 ☎(011)204-5354

早寝早起き朝ごはん
フォーラム in ほっかいどう

乳幼児期からの生活習慣の重要性をテーマとした講演や、地域での取り組みの発表を行います。また、ものづくりや絵本の読み聞かせ、木を使ったおもちゃ遊びなどの体験コーナーも設け、親子で楽しめます。保護者や学校関係者、団体など、どなたでも参加でき、入場は無料です。お申し込みをお待ちしています。

◎日時／12月16日（土）13～17時
◎会場／北海きたえーる（札幌市豊平区豊平5-11）
◎申込方法／参加申込書をホームページで入手し、次のいずれかの方法でお申し込みください。

郵送・持参	〒060-8544（住所不要） 北海道教育庁生涯学習 推進局生涯学習課
FAX	(011)232-2236
メール	kyoiku.seigaku2@pref. hokkaido.lg.jp

◎申込締切／11月29日（水）必着
早寝早起き朝ごはん 北海道 検索
▶教育庁生涯学習課 ☎(011)204-5744